

第1回 北海道森林管理局国有林材供給調整検討委員会 (概要)

先般開催した、令和元年度 第1回北海道森林管理局国有林材供給調整検討委員会の概要について、次のとおりお知らせします。

1. 日時

令和元年 6月27日(木曜日) 13時30分～15時30分

2. 会場

北海道森林管理局 3階 大会議室

3. 検討結果

国有林材の供給調整の必要はないとの結論となった。

4. 主な意見等

- トドマツ原木の供給量は、前年対比では増えているが、中・小径木の不足感が残っている。
- カラマツは、相変わらず原木不足であり、特に小径木の適材不足はここ2年ほど続いている。
- 針葉樹のチップ用原料は、相変わらず品薄・高値の状況が続いている。
- 5～6月は、天候が良く素材生産が進み、運材も順調である。
- 苫小牧港を中心に、トドマツ・カラマツ原木の本州への移出が増えているので、その動向について注視する必要がある。
- バイオマス発電では、原料の20%～35%ぐらいを末木枝条でまかなえるよう集荷に努めているが、効率的な集積・搬出方法について、更なる研究・改善が必要である。